



マルチクラウドの 運用効率化： 4 つのお客様事例

どのように世界各地の企業が
VMware Cloud を活用して
マルチクラウド環境で自由な選択、
スピード、管理性を実現しているか

マルチクラウドの運用効率化は付加価値を生む

戦略的なアプローチを取ることで、企業は次のことが可能になります。



運用の複雑さを低減:パブリッククラウドの導入と運用手法を標準化し、ワークロードの一貫性のある管理、スケーラビリティ、セキュリティを確保して、運用を簡素化できます。



クラウドを自由に選択:必要に応じてクラウドを組み合わせ、標準的な手法を実装して、アプリケーションワークロードをプロビジョニング、展開、保護、および管理できます。



包括的に可視化:組織全体で統一されたクラウド管理手法を確立して、使用状況の監視における盲点をなくします。



事業継続性を強化:

パブリッククラウド間でワークロードを分散し、バックアップを自動化して、DRを促進するための組織横断的なポリシーを定義することにより、事業継続計画を推進できます。



多くのイノベーションにアクセス:クラウド導入ポリシーを明確に定義することで、柔軟性の高いインフラストラクチャ、Kubernetes、自動化されたDRaaSなど、ハイパースケーラーが提供する革新を活用できます。

調査によると、**マルチクラウド管理には一貫性が必要**

97% に上る世界中の企業が、パブリッククラウド環境とプライベートクラウド環境を組み合わせ使用しています。

71% に上る世界中の企業が、共有のクロスクラウド管理制御プレーンを確保することが肝要であると考えています。

一般的なビジネスアプリケーションには、**5 ~ 15** の依存関係があります。

出典: IDC Technology Spotlight(sponsored by VMware)、
『Hybrid/Multicloud Complexity Requires Unified Management and Control』、#US46831320、
2020 年 9 月

運用化の取り組みを妨げる障害

マルチクラウドの導入に一貫性をもたらすことは、次のような多くの要因によって複雑になる可能性があります。



複数の運用モデル、ビジネス部門、地域にまたがって
テクノロジーとプロセスがサイロ化して
いると、技術的、財務的、または政治的な理由から、
連携を図ることが難しい場合があります。



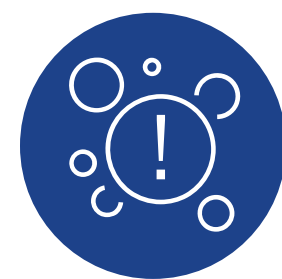
整合性を欠く従来の方針や慣行を標準化するために
専門的なスキルが必要になり、高い専門能力を
持つ人材を募集、採用、維持しなければならない
場合があります。



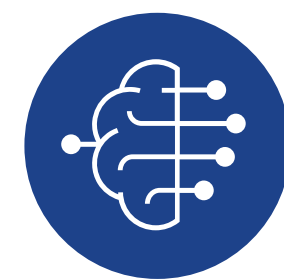
すべてのクラウド環境でデータセンターの使用
に関する**標準を確立すること**は、グローバル
企業にとっては特に、多面的な課題となります。



ガバナンスとコンプライアンスを確保する
ためにサービス デリバリーが遅れる場合があり、クラ
ウド プロバイダーごとに異なる方法でデータ管理
ポリシーが実装されていると、コンプライアンス
管理がさらに複雑化して時間を要する場合があります。



サービス プロバイダーからサードパーティ サー
ビスの利用者へと、**IT の役割が変化**すると、
非効率性、ベスト プラクティスの順守における齟齬、
より高度な財務上およびセキュリティ上のリスク
が生じる可能性があります。



変化するワークロードのニーズをサポート
することは容易ではなく、特に、AI、機械学習、
分析など、多くのリソースを必要とするアプリケー
ションを使用している場合は困難になる可能性が
あります。

**86% の回答者が
クラウドの導入における
スキル不足を認識**

多くの企業が IT スタッフの不足に
加え、特にクラウドプラットフォーム
に関連する多くのスキル不足が深刻
であると回答

出典: 451 Research (S&P Global Market
Intelligence の一部)、『Cloud Trends in 2020:
The Year of Complexity, and its Management』、
2020 年 1 月

マルチクラウド運用に向けた 3 つの IT イニシアティブ

これらのユースケースは、組織の取り組みを加速し、成果を最大化することができます。

1

IT の統合

マルチクラウドの運用効率化に向けた最初のステップは、IT サイロを統合することです。分断していると、整合性が失われて効率の低下やリスクの増大が生じます。マルチクラウド モデルに移行することにより、IT 部門は、ライフサイクルのあらゆる段階でクラウドとアプリケーションポートフォリオ全体を可視化して、環境を継続的に最適化および改善できるようになります。

2

クラウド財務管理

クラウドの導入が組織全体へと拡大するにつれて、新たに展開されたアプリケーションや移行されたアプリケーションから、廃止されずに放置されたインスタンスや使用率の低いクラウド リソースに至るまで、コストが急増して管理不能になる可能性があります。組織は、プロアクティブなワークロード計画から始めて、展開を最初から適切なサイズにし、それ以降も無駄を省き、ガバナンスを改善して、使用率を上げながら、コストを継続的に最適化することができます。

3

セキュリティとコンプライアンス

マルチクラウド戦略により、組織は業務に最適なクラウドからアプリケーションを提供できます。これによって選択肢が広がりますが、環境の分散化が進むと、セキュリティ上の脅威にさらされる危険も増大します。組織は、クラウドの使用増加に合わせて、ポリシーによる自動化を図り、クラウドとアプリケーション全体をリアルタイムで可視化して、リスクを評価し、問題を迅速にトラブルシューティングし、コンプライアンスを維持する必要があります。



VMware のクラウド テクノロジー: 確実な運用効率化

VMware は、運用化のメリットを最大限に引き出せるようにする基盤を提供します。

選択肢

- あらゆるクラウドとあらゆるアプリケーション アーキテクチャの組み合わせをサポートします。
- リソースを管理するため、またアプリケーションのパフォーマンスに関する問題を監視して対応するための共通の管理機能および手法により、一貫性を実現します。

スピード

- サービス デリバリと、変化や問題への対応を迅速化します。
- IT スキル、管理ツール、方法論をクラウド全体で活用して、短時間でクラウドと Kubernetes を導入し、高い俊敏性を獲得できます。

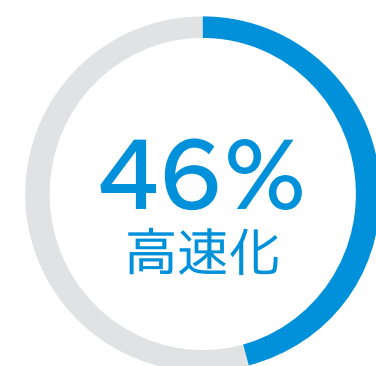
コントロール

- クラウドとアプリケーション アーキテクチャの組み合わせにかかわらず、一貫性のある方法で管理して、運用の効率化、コンプライアンスの確保、IT コストの最適化を実現します。
- インフラストラクチャからアプリケーションに及ぶインサイトを入手して、計画的および予定外の変更に備え、全体的なリスクと無駄を減らすことができます。



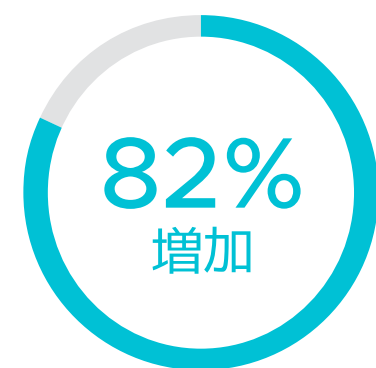
VMware のクラウド テクノロジーは具体的なメリットを実証済み

調査により、VMware ソリューションの財務的および戦略的利点を確認されています。



リロケーションによりコーディングが
不要となることによる高速化

出典: IDC ビジネスバリュー ホワイトペーパー (sponsored by VMware)、
『The Business Value of Running Applications on VMware Cloud on AWS in
VMware Hybrid Cloud Environments』、#US46919520、2020 年 10 月



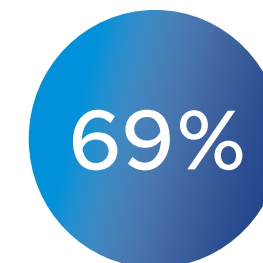
DevSecOps の最適化による本番リリースする
ソフトウェア数の増加

出典: 『VMware, The Counterintuitively Fastest Path to App
Modernization, Kit Colbert, CTO VMware Cloud Platform』、2020 年 10 月



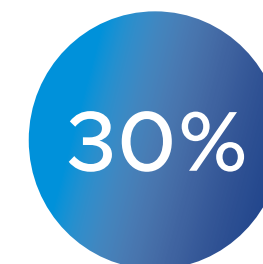
インフラストラクチャおよび
運用コスト削減の成果

出典: 『The Total Economic Impact™ Of VMware Cloud On AWS』、
VMware の委託により Forrester Consulting が実施した調査、2019 年 8 月



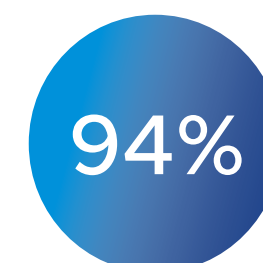
IT インフラストラクチャ全体の
管理と運用を削減

出典: 『The Total Economic Impact™ of VMware vRealize
Operations』、VMware の委託により Forrester Consulting
が実施した調査、2019 年 3 月



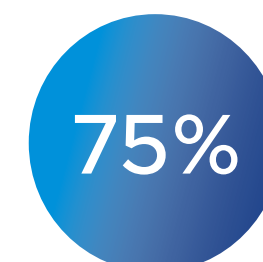
可視性と問題解決を改善

出典: 『The Total Economic Impact™ of VMware vRealize
Operations』、VMware の委託により Forrester Consulting
が実施した調査、2019 年 3 月



Kubernetes 導入後の運用を削減

出典: 『ESG Economic Validation – Analyzing the Economic
Benefits of Operationalizing Kubernetes with VMware
Tanzu Standard』、2021 年 1 月



セキュリティ パッチの適用に費やされる
時間を削減

出典: 『The Total Economic Impact™ of VMware Tanzu
Application Service』、VMware の委託により Forrester
Consulting が実施した調査、2019 年 12 月

お客様のニーズに対応可能な実績を
誇るエンタープライズ機能

📍 8,500 万
本番環境で実行中のワークロード

📍 1,500 万
クラウド上のアプリケーション
ワークロード (総計)

📍 独自性
比類のないマルチクラウド戦略

📍 高度に分散化された
管理、セキュリティ、運用
ソリューション

📍 4,300 社
VMware のテクノロジーを使用
してパブリッククラウドを構築して
いる VMware Cloud プロバイダー

Discovery(南アフリカ)

効率的なマルチクラウド管理によって適切な意思決定を促進し、セキュリティを強化

ビジネス ニーズ

- 顧客の行動パターンに関するタイムリーで正確なインサイトによる、新たなセールス チャンスへの迅速な対応
- クラウドベースのデジタル トランスフォーメーションによる継続的な成長のサポート
- セキュリティの脆弱性への可視性強化による、変化に伴うリスクの把握

Discovery の企業概要

Discovery は、医療、生命保険、短期保険、貯蓄/投資、ウェルネス市場で事業を展開する金融サービス企業です。同社は創業以来、人々の健康増進、生活の向上と維持という、明確な目的に沿って発展してきました。

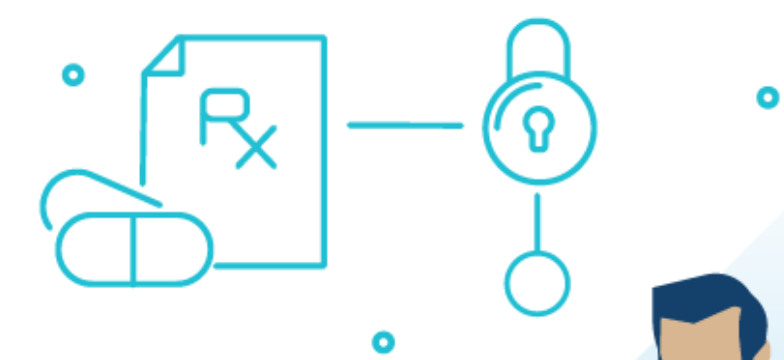
[お客様事例を読む\(英語\)](#)
[ビデオを視聴する\(英語\)](#)

統合クラウド管理はすべての人の健康増進に貢献

- マルチクラウド管理を簡素化、統合して、急速な成長にも対応できるよう運用管理を強化
- CloudHealth by VMware を活用して、12 か国/62 か所のクラウド環境のアクティビティを可視化
- クラウドの使用状況とコスト、パフォーマンス、セキュリティへの全般的な影響に関するレポートをオンデマンドで作成
- 管理効率の向上と無駄の削減によってコストを 40% 削減
- 人々の健康増進と収益の健全化という企業理念をサポート

「CloudHealth by VMware の導入によって、はじめて複数の領域のクラウドアクティビティを単一の画面で見られるようになりました。もう情報を探しまわることなく、ボタン1つですべてのデータを確認できます」

Discovery Group、Senior Platform Services Manager
Johan Marais 氏



Provident México(メキシコ)

運用の一貫性を確保し、アプリケーションの提供
を最適化して、イノベーションを加速

ビジネス ニーズ

- アプリケーションとネットワークの依存関係を含む、
IT 環境全体を把握
- オンプレミスとクラウドの仮想化インフラストラクチャ
およびアプリケーションのキャパシティやパフォー
マンスを継続的に監視
- Provident México とともに成長する堅牢なソリュー
ションを採用して展開することで、将来の変化に対応
可能なビジネスを実現

Provident México の企業概要

Provident は、メキシコの個人向け住宅ローン市場を
リードする企業で、メキシコ全土に 10,000 人を超える
委託販売員と約 2,600 人の従業員を配置しています。
同社の目標は、包括性、透明性、信頼性の高い方法で
ローンを迅速に提供して、日々進歩することです。

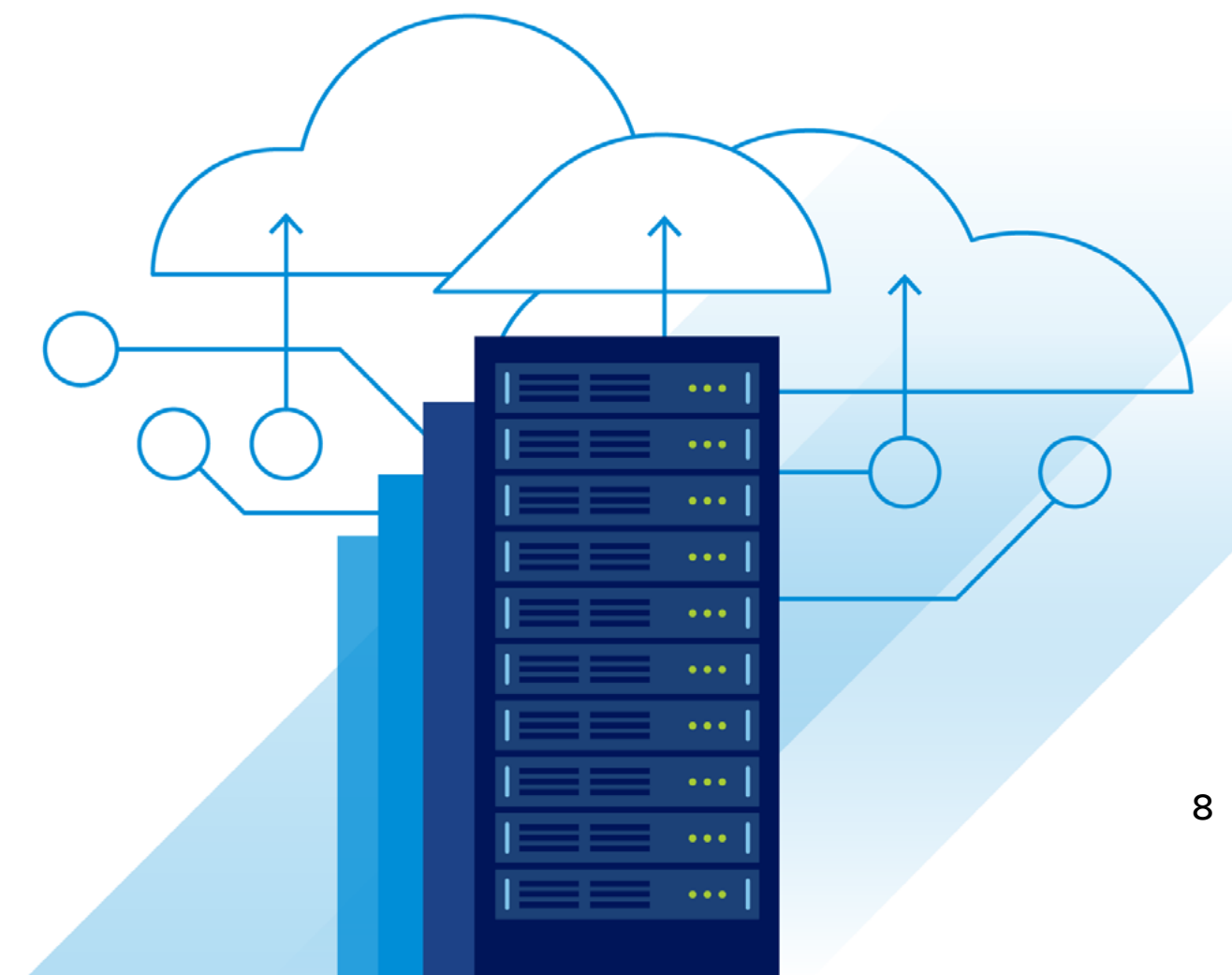
[お客様事例を読む\(英語\)](#)
[ビデオを視聴する\(英語\)](#)

一貫性のある運用の確保、リスクの低減、 効率の向上という目標をすべて実現

- わずか 5 か月半で本店と支店のアプリケーションをすべてクラウドに移行
- ライトサイジングにより、キャパシティ要件を 30% 削減(オンプレミスとクラウド
のキャパシティの消費量を比較)
- IT 管理を簡素化し、2 人の担当者だけで環境全体の 300 台以上のサーバを監視および
保守できるようにして、効率を向上
- アプリケーションとネットワークの依存関係を迅速に特定して、リスクを低減

「以前は、アプリケーションを本番環境に投入するのに1年半近くかかって
いました。VMware vRealize Cloud Management により、今では
数か月以内に実施できます。まさにゲームチェンジャーです」

Director of Technology and Change
Néstor Rodríguez 氏



Börse Stuttgart(ドイツ)

管理データをパブリッククラウドに移行して IT 運用を効率化
ビジネス ニーズ

- IT 部門が手動で行っているメンテナンスとアップグレードのための時間を削減して、俊敏性を促進
- 脆弱性検出と更新をスピードアップし、セキュリティを向上
- ハイブリッド環境のサポート(オンプレミスの取引データとパブリッククラウドの管理データ)
- コストとコンピュート競合の問題をダッシュボードで経営陣に対して可視化
- IT リソースをさらに最適化する方法として、コスト管理(チャージバック/ショーバック)を迅速にサポート
- 新型コロナウイルスの感染拡大でチームが在宅勤務になるなか、キャパシティの可視性を向上

Börse Stuttgart の会社概要

Börse Stuttgart はドイツで 2 番目、ヨーロッパで 9 番目に大きい証券取引所です。同社は、株式、債券、ETP、ファンド、投資商品、レバレッジ商品をクライアントが取引できるようにすると同時に、優れた取引品質と最良の価格を確保することに努めています。

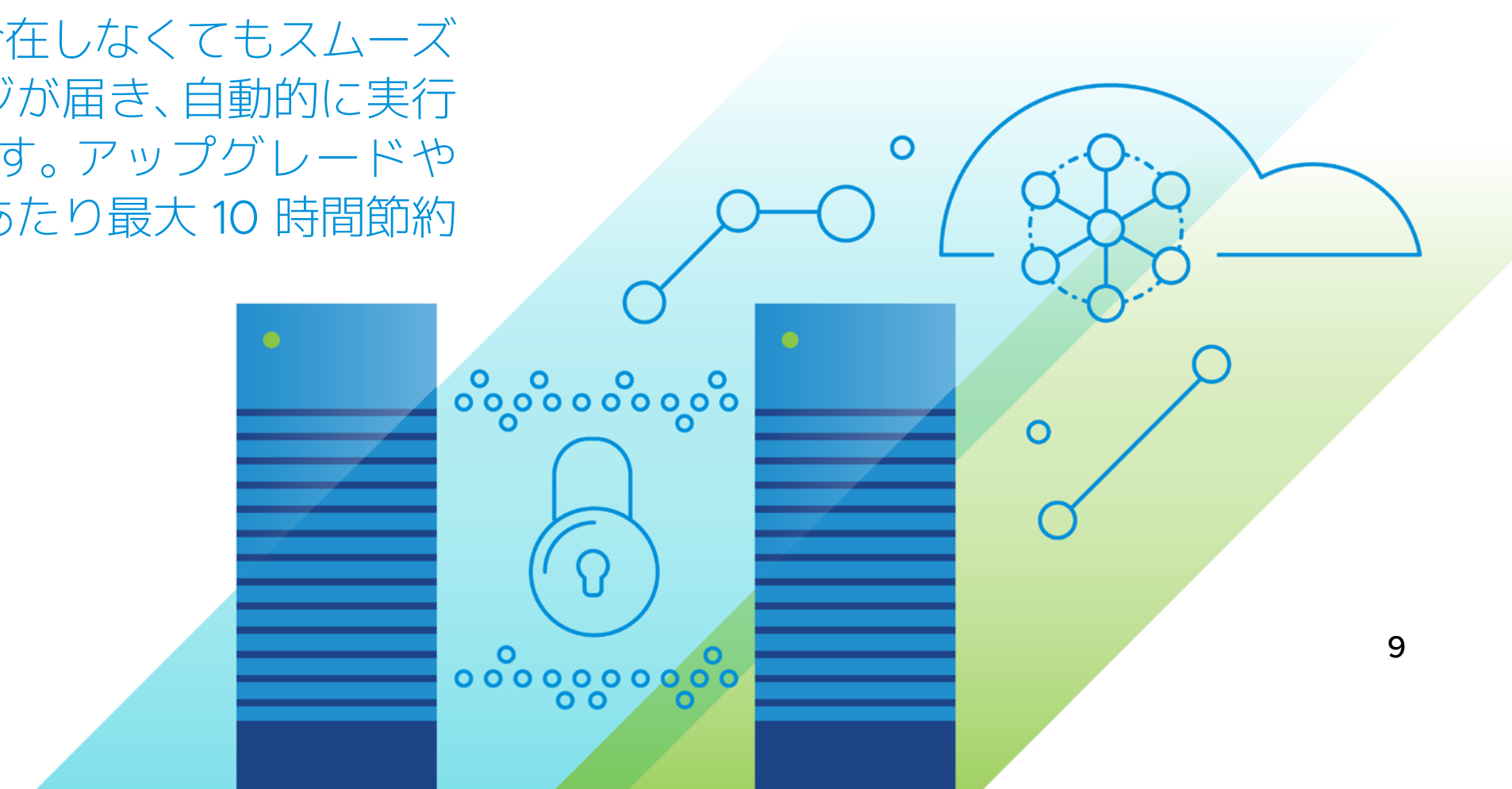
[お客様事例を読む\(英語\)](#)

サービスの監視強化、トラブルシューティングの迅速化をクラウドによって実現

- IT 部門が IT 運用にかけていた時間を 1 か月に 3 ~ 10 時間イノベーションの創出に振り向け
- IT 管理を簡素化: 数分で Cloud Proxy を設定して適切に運用
- 管理レポートとダッシュボードを利用して即応性を向上
- キャパシティのライトサイジングによりテレワークに即座に対応

「VMware vRealize Operations Cloud は、私が介在しなくてもスムーズに機能します。アップグレードの前にメッセージが届き、自動的に実行されます。数分後に、完了メッセージが届きます。アップグレードやトラブルシューティングにかかる時間を 1 か月あたり最大 10 時間節約しています。導入したことは成功でした」

IT System Specialist
Stephan Wiechert 氏



インド国立証券取引所(インド)

クラウド インフラストラクチャにシームレスに移行して、運用を簡素化、効率化

ビジネス ニーズ

- モダン アプリケーションの革新性を最大限に活用して、将来の変化に対応可能なビジネスを実現
- 耐障害性に優れ、将来の変化に対応可能な IT インフラストラクチャにより、競争力と俊敏性を維持
- スケーラビリティと運用の俊敏性により、取引のキャパシティを向上
- マイクロセグメンテーションにより、セキュリティを確保

インド国立証券取引所の概要

1992 年に設立されたインド国立証券取引所(NSE)は、インド初の無券面化された電子取引所です。NSE のインデックスである NIFTY 50 は、インド資本市場の指標として世界中の投資家が使用しています。秒単位で姿が変わる世界で、NSE は未来を再定義するために自らを刷新し続けています。

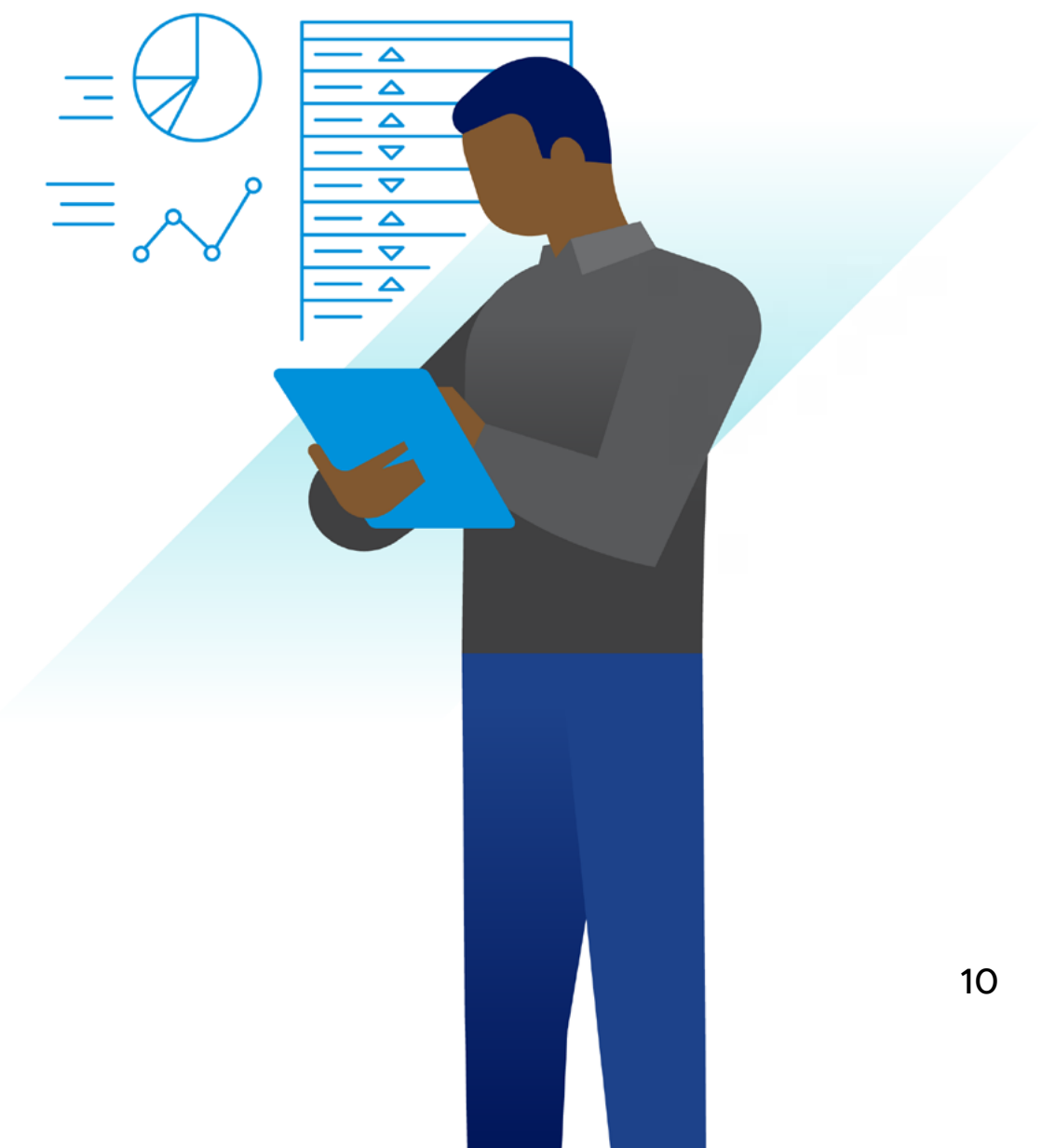
[お客様事例を読む\(英語\)](#)

IT 運用を変革して、取引環境を抜本的に改善し、将来の変化に対応可能な組織を確立

- VMware vCloud Suite と VMware NSX を使用して、IT 運用の制御性と一貫性を確保
- IT インフラストラクチャの維持および管理に要する設備投資コストと運用コストを削減
- 取引や交換などの金融アプリケーションの導入までの期間短縮とスケーラビリティを実現
- 多くのリソースを必要とするアプリケーションのスケーラビリティと柔軟性を確保
- ネットワークのプロビジョニングに要する時間を数日から数分に短縮

「管理タスクの簡素化、手動プロセスの自動化、オンデマンドでのスケールアップ、ビジネスの俊敏性向上を実現できました。この導入により、今後何年にもわたって最先端のテクノロジーを活用できるようになりました。私たちのインフラストラクチャは将来の変化に対応できます」

Chief Technology and Operations Officer
Shiv Kumar Bhasin 氏



クラウド環境の運用効率を高める

VMware のクラウド テクノロジーとそのビジネス価値に関する詳細をご確認ください。

主なソリューション

- **vRealize Suite**: 一貫性のあるマルチクラウド管理環境により、クラウドへのビジネス移行をサポートします。複数のライセンスとデリバリモデルを柔軟に活用し、独自のペースで移行を進め、俊敏性、スケーラビリティ、効率性を向上させることができます。
- **CloudHealth Suite**: 包括的な管理機能を提供する単一のソリューションにより、クラウドにおける業務運用を変革します。





参考資料:

優れたコンテナ管理でリスクを低減

eBook を読む:トラブルシューティングの迅速化とリスクの低減を実現(英語)



vmware®

ヴァイエムウェア株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワー N 18階 www.vmware.com/jp

Copyright © 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。ほかのすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No.: vmw-ebook-operationalizing-multi-cloud-4-success-stories-v3 E:2021/06 J:2022/01